

第33回 大阪府臨床心理士会 総会・研修会のご案内

第33回大阪府臨床心理士会総会・研修会を下記の通り開催いたします。

ご多忙の時期とは存じますが、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

午前は「ポジティブ心理学を臨床支援に活かす」と題して、全体会を企画しました。また、午後は7つの分科会を開催します。

参加申込をされる場合は、【5.申込手続き】に沿ってお申込ください。先着順にて受付いたします。

当会では、新型コロナウイルス感染予防として、マスクの着用を推奨しております。当会におきましても新型コロナウイルス感染拡大防止に努めておりますが、感染についての責任は負いかねますのでご了承ください。

※事前申込制です。**当日の参加受付はいたしません。**

※午前の全体会においては、参加者多数の場合、先着順にて会場に入りきれない場合には、サテライト会場にて参加していただく可能性があります。午後の分科会においても、研修内容や会場の都合により定員が生じる分科会がございますので、早めにお申込みください。申込状況によりご希望の分科会に参加できないことがあります。また定員を設けていない分科会で参加者多数の場合は、部分的にシアター形式(机なし)になることがあります。あらかじめご了承ください。

※大阪国際会議場では、持ち込みの飲食は禁止されています。ただし、会場で注文したお弁当であれば、会場でお取りいただけます。お弁当の注文については、【5.申込手続き】を参照ください。

※会場の空調は集中管理のため、各自、調整できるよう服装等ご準備ください。

1. 日時：2025年6月1日(日) 9:30 ~ 17:00 [受付は9:00より開始します]

2. 場所：大阪府立国際会議場 グランキューブ大阪 【同封:会場へのアクセス参照】
〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51

3. スケジュール

9:00 ~ 9:30 受付開始(場所:10階)

9:30 ~ 11:30 全体会

11:30 ~ 11:35 事務局からのお知らせ

11:35 ~ 12:35 昼食・休憩(書籍販売があります)

12:35 ~ 13:35 総会(会員はご参加ください)

13:35 ~ 13:50 休憩・分科会会場へ移動(会場は当日、要確認)

13:50 ~ 16:50 分科会

4. 研修内容

◇◆◇ 全体会 ◇◆◇

「ポジティブ心理学を臨床支援に活かす～レジリエンスと強みを引き出す実践～」

現代社会では、ストレス反応の慢性化や過剰な心理的負荷が深刻な課題となっています。このような状況に対応するため、従来の問題解決や症状軽減を目的としたアプローチに加え、近年では「レジリエンス」などを取り入れたポジティブ心理学への注目が高まっています。ポジティブ心理学は、幸福感や楽観性などの要素を感情的・認知的側面から総合的に捉え、それをクライアントの成長や生活の質向上につなげることを目指すものです。

今回の研修では、ポジティブ心理学の臨床的応用に詳しい島井哲志先生（関西福祉科学大学）をお迎えし、理論から実践的な応用方法までを学びます。普段の臨床実践にポジティブ心理学の視点を取り入れることで、支援の幅を広げ、新たな可能性を見出す契機としていただければ幸いです。

企 画：理事会
講 師：島井 哲志（関西福祉科学大学）
司 会：吉野 徳一郎（公立学校スクールカウンセラー）

◇◆◇ 分科会 ◇◆◇

《A分科会》 外国にルーツを持つ子どもへの学校支援～現状と課題から支援を考える～

近年、学校現場において、外国にルーツを持つ子どもの数は増加の傾向が見られます。外国にルーツを持つ子どもたちは、様々に異なる文化的背景を持つために、日本における日常生活や学校生活で心的ストレスを感じる人が多いと考えられます。今後、外国にルーツを持つ子どもたちが増えてくる中で、そのような子どもや保護者、そこに関わる職員への支援を求められる機会も増加すると推測されます。

そこで本研修では、そのような子ども・保護者・教職員への支援を行う場合に、SCや関連機関の心理職が知っておくべき制度や現状について、またSCに何が求められるかなど大阪府教育庁から担当者をお招きし講義いただきます。その後、参加者間でディスカッションを行い、現場での支援に繋がる知見を得られる機会にしたいと考えています。

企 画：教育部会
講 師：大阪府教育庁市町村教育室小中学校課進路支援グループ 指導主事
司 会：木川 恵理（神戸女子大学学生相談室）

《B分科会》 うつに対する反すう焦点化認知行動療法

反すう焦点化認知行動療法(Rumination-Focused Cognitive-Behavioral Therapy; RFCBT)はうつ病の残遺症状としての反すう思考に対するアプローチとして研究開発され、現在ではうつ病の症状改善だけでなく若者のうつ病、不安症の発症を予防する効果も明らかにされています。また診断名によらず反すうや心配が中心課題となっている人々への支援法として付加的に用いることもできるなど発展を見せています。

このたびRFCBTにおける国内での第一人者である梅垣佑介先生(奈良女子大学)を講師にお招きし、反すうがうつ病や不安症の症状にいかに関与するのか、また反すうをターゲットとして個人の情報処理スタイルを変容する技法について具体的にご教授頂きます。なお、本研修では主に講義形式で実施します。

企 画：医療保健部会
講 師：梅垣 佑介(奈良女子大学)
司 会：巢黒 慎太郎(神戸女子大学)

《C分科会》 緩和医療における ACP の実践について～ご本人の意向を重視した医療やケアを提供するために～

かつて延命治療のエスカレートが世界的問題となり、米国では、意思決定が難しくなる前に本人が治療やケアに関する意思を表明するAD(Advance Directive, 事前指示書)の作成が推進されましたが、研究の結果ADの介入効果は示せず、本人と家族等の代理決定者や医療福祉従事者が、意思決定できなくなったときの治療やケアについて話し合うプロセスを指すACP(Advance Care Planning)という概念が提唱されました。日本の超高齢社会の進行に伴い、ACPへの関心は益々高くなっています。しかしながら、ACPの実践についての様々な取り組みが、組織的な動きになっているとはいえません。本研修では、講師にACPの研究と臨床に取り組んでいる木澤義之先生(医師)にACPの概念と実践について具体的にご講授いただきます。

企 画：医療保健部会
講 師：木澤 義之(筑波大学 医学医療系・医師)
司 会：田口 真由美(大阪大学医学部附属病院)

《D分科会》 社会性涵養プログラムがめざしたもの

本研修では、元教育専門官の竹下三隆先生、乾井智彦先生のお二人をお招きし、社会性涵養プログラムの実際をご講義いただきます。このプログラムは奈良少年刑務所(2016年度末廃庁)で実施されていた更生のためのプログラムです。根幹を流れる理念は、「対象者を評価せず、対象者のそのままを淡々と受け止める」ということです。そのことで、対象者は「自分のことが大切にされているという実感」を持つことができ、何となくの自信(無条件の自信)や安心感を得ることができます。これは、

人間関係につまずいている人にとっては一歩踏み出す自信になったり、心の余裕となって意欲が喚起されたりします。本プログラムは、心理士が今関わっているクライアントや保護者がどこに向かえばいいのかというヒントになるだけでなく、私たち心理職自身の在り方を考える機会になることと思います。本研修では、短いワークを体験いただく予定です。

企 画：司法矯正部会
講 師：竹下 三隆(四條畷市教育委員会)
講 師：乾井 智彦(京都女子大学)
司 会：郭 知陽(司法心理研究所)

《E分科会》 境界知能の理解と支援

境界知能とは、おおむねIQ70から84の範囲をさします。自治体により基準は異なりますが、境界知能の方々は療育手帳制度の対象外とされることが多く、障害福祉サービスを利用できない現状があります。しかしながら、療育手帳の基準に満たないからといって、これらの方々が支援を必要としていないというわけではありません。むしろ、制度のはざまにいるがゆえ、周囲からの適切な理解や支援を得にくく、生きづらさや孤立感をよりいっそう深めている場合もあるでしょう。

本研修では、小児科医として境界知能の方々の支援に第一線で取り組んでおられる、青山学院大学の古荘純一先生にご講義いただきます。私たち臨床心理士が境界知能の方々をいかに理解し寄り添えるか、一緒に考えていきましょう。(定員100名)

企 画：福祉部会
講 師：古荘 純一(青山学院大学)
司 会：山路 明大(弘済のぞみ園)

《F分科会》 そろそろ紙とサヨナラ!「デジタル無理」を「できるやん」に! 心理士のDX入門

企業、病院、学校等、様々な組織で「DX(デジタルトランスフォーメーション)」が進んでおり、臨床心理士にも業務の変革やデジタルツールの活用が求められているのではないのでしょうか?

「なんだか難しそう・・・」と感じている方も多いかもしれないこのテーマに対して、本研修では、前半では、DXとは何か? 普段の業務にどのように取り入れられそうかという考え方をお伝えします。後半では、休復職支援、データ集計・分析、定型業務の効率化等をテーマに、具体的なツールの活用方法を解説します。また、ワークを通して、自職場でまず取り組み始められそうなことを考える機会にします。心理士ならではの本来業務に、より時間と労力をかけられる仕組作りを学んでみませんか?(定員40名)

企 画：産業部会
話題提供者：渡邊 帆名美(ダイハツ工業株式会社)
話題提供者：村田 州央(株式会社アソウ・ヒューマニーセンター)
司 会：渡辺 優香(株式会社かんでんエルハート)

《G分科会》 新人研修会(体験学習)―先輩の知見をおすそわけ―

新人の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。臨床心理士として現場に出てみたものの「思ったのと違う!」「これでやっていけるのかな」など、様々な思いを感じているのではないのでしょうか。現場では養成課程で学んだこと以上に、期待されることも多く、今後の臨床活動に不安を持っている方もおられるでしょう。

そんな新人のみなさんのニーズに応えるべく、本研修では、臨床においてクライアントとのやりとりや、他職種との連携などでよくある困った場面をロールプレイを用いて体験学習し、その後、先輩心理士との振り返りを通して、臨床実践のエッセンスを楽しく学びます。そして臨床心理士として「明日からがんばろう」と思える機会にしたいと思います。

なお、本研修会は資格取得後5年以内の方を対象とし、定員の関係上、資格取得5年以上の方は参加できません。また、ロールプレイなどの体験学習を主とした研修会であることをご了承の上、ご参加ください。(定員15名)

企 画： 理事会

講 師： 川端 康雄(大阪医科薬科大学病院)

5. 申込手続き

※お申込は、イベントペイで行っていただきます。パソコン、スマートフォン等をご用意ください。

【重要】なお、本案内は「大阪府臨床心理士会会員専用申込フォーム」となっております。当会非会員の方には別の申込フォームを大阪府臨床心理士会ホームページにてご案内いたします。

- ① 申込締切： 4月20日(日)振込み分まで ※締切厳守
研修当日の受付はいたしませんので、ご注意ください。
- ② 参加費： 大阪府臨床心理士会会員(お弁当なし) 3,000円
(お弁当1,644円(お茶付き)あり) 4,644円
非会員臨床心理士(お弁当なし) 5,000円
(お弁当1,644円(お茶付き)あり) 6,644円

※大阪国際会議場では、持ち込みの飲食は禁止されています。ただし、会場で注文したお弁当であれば、会場でお取りいただくことは可能です。所定の場所にておとりください。なお、ゴミは各自でお持ち帰りください。

※入会希望の方は、4月20日(日)までに入会をお済ませください。

※入会申込から入会登録の完了まで、早くても2週間程度は要します。

※年会費を2年以上滞納された場合、除籍となります。ご注意ください。

※参加ご希望の方は、以下のURLあるいは二次元コードにアクセスし、申込フォームにご入力ください。当会ホームページのトップページでも確認いただけます。

※この申込フォームは当会会員用です。非会員の方は大阪府臨床心理士会HPに非会員用申込フォームがあります。

◎当会会員専用申込フォーム

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=1573059353461105&EventCode=7712635328



※手数料は220円です。

※希望する分科会1つを選択してください。誤って選択された場合、申込後の変更修正ができませんのでお気をつけください。

※申込フォームに入力されたお名前や臨床心理士番号、メールアドレスなどが、当会の会員確認となります。

※ご入力されるメールアドレスが、eventpay.jpからのメールを受信するよう設定を確認してください。キャリアメール(@docomo,@ezweb,@softbankなど携帯電話会社が自社ドメインで提供する電子メールサービス)でのお申込の場合、eventpay.jpから受信できないことが多いようです。また、eventpay.jpから受信したメールが、誤って迷惑メールフォルダに分類される場合もありますのでご注意ください。

※申込エラーが表示された場合、1つのメールアドレスで2回目の申込をしているなどの理由があります。必要に応じて前のページに戻り、申込情報の確認をお願いします。

※クレジット決済を選択された方は、入金を確認されると【お申込みいただきありがとうございます】の件名の申込および事前支払い受付メールが届きますので、こちらで参加申し込みは完了です。なお入力等に不備がある場合、決済が行われず申込が完了しません。確認メールが届いていることを必ずご確認ください。

※コンビニ決済又はペイジー決済を選択された方は申込受付メールが届いた後も、引き続き支払手続きをお願い致します。入金を確認されると、「入金を確認いたしました」と入金確認メールが送信されます。入金を確認された時点で、参加申込は完了です。期限内に入金がないと、申込は自動的にキャンセルされます。

※一度納入された費用は、いかなる理由があっても返金できません。ご了承ください。また参加キャンセルの連絡は不要です。キャンセル後に参加証ハガキが届いた場合は、そのまま破棄をお願いします。

③ 参加申込の完了後の返金および分科会の変更はできません。

④ 参加申し込み締め切り4月20日(日)までに手続きを完了された参加者には、**5月中旬頃**に「**参加証**」を当会に登録されている案内送付先の住所にはがきでお送りします。当日忘れずにご持参ください。はがき発送時期が変更になる場合はHP等でお知らせいたしますのでご確認ください。

※尚、手続きに不備があった場合は「参加引換証」をお送りします。「参加引換証」が届いた方は、当日9:30~10:00までに事務局受付で「参加証」と引き換えてください。

- ⑤ 本研修は、資格更新のための研修ポイント(2点)を申請予定です。研修会終了後、各研修会場にて、「参加証」と交換で、研修証明書を配付します。
(遅刻・早退は30分を限度とします)。

6. 合理的配慮について

車椅子のご利用など、研修参加に際して特別な配慮が必要な方は、4月20日までに、下記フォームよりお申込ください。ご要望内容をご相談の上、検討させていただきます。可能な限りご対応させていただきますが、ご希望に沿えない場合がありますこと、あらかじめご了承ください。ご協力のほど、よろしく申し上げます。

なお研修会場および周辺施設のバリアフリー情報について、同封されている【会場へのアクセス、バリアフリー情報】に掲載していますので、ご活用ください。

◎合理的配慮のお申込みはこちら

<https://forms.gle/GuhpogBS9zs3D3fu5>



7. 今回同封されているもの(計9点)

①総会研修会案内、②会場へのアクセス、バリアフリー情報、③事務局からのお知らせ、④託児サービス案内、⑤懇親会チラシ、⑥ニュースレター、⑦部会研修案内、⑧書籍案内、⑨研修年間予定表

8. 問い合わせ

お問い合わせは、下記の大阪府臨床心理士会事務局まで、メールまたはFAXでお願いします。当会の会員確認および参加申込の確認をいたしますので、お名前と臨床心理士番号を必ずご記入ください。

キャリアメール(@docomo,@ezweb,@softbankなど携帯電話会社が自社ドメインで提供する電子メールサービス)でお問い合わせの場合、事務局からの返信メールが、エラーで戻ってくる場合がございます。ご注意ください。

2週間以内に返答がない場合は、お問合せが当会事務局へ届いていない、又は事務局からの返信メールが受信拒否されている可能性があります。当会事務局からのメール(osakacp@osccp.jp)が受信可能なメールアドレスから、再度お問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

なお、事務局の開室曜日が限られますのでお返事には日数を要する場合がございます。また土日祝は閉室しておりますため、研修会前日や当日にメールやFAXでお問合せを頂いてもお受けできません。本研修会に関してのお問い合わせはお早めにお問い合わせ致します。

【問い合わせ先】

大阪府臨床心理士会事務局

Mail : osakacp@osccp.jp

Fax : 06-6942-5110

Home Page : <https://www.osccp.jp/>



9. 託児サービスのご案内

小さなお子様のいる方でも、当日安心してゆっくりご参加いただけるよう、託児サービスをご用意する予定です(今後の感染状況等により変更する場合がございます。詳細は府士会 HP 等をチェックしてご参加ください)。

利用可能時間	9:00~17:30まで
対象	総会研修会の参加者(当会非会員もご利用できます)
お子様の年齢	1歳~6歳(未就学児に限ります)
定員	15名(先着順)
託児場所	大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)会場内(申し込まれた方に後日お伝えします)
利用料金	3,000円(当会非会員も同じ)
利用方法	予約制
託児形態	託児サービスは(株)ポピンズファミリーケアに委託して実施します。
利用申込・お問い合わせ	同封の案内チラシをご確認いただき、利用申込書に必要事項をご記入のうえ、(株)ポピンズファミリーケアまでFAXにてお申し込みください。 (株)ポピンズファミリーケア大阪支社 チャイルドケアサービス部 担当:竹内・西田 電話06-6367-2100 FAX 06-6367-2105
その他	保育に配慮が必要な場合は、ご予約時にお申し出ください。 大阪府臨床心理士会および大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)は、本サービスおよび会場内外での事故等の責任を負いかねますので、ご了承ください。 詳細は同封の案内チラシを御覧ください。